



## OPAM 大分県立美術館

「Oita Prefectural Art Museum」

すらっとして美しいプロポーションの樹木の間から見え隠れするブラックスーツ姿の男性の躍動感あるビジュアル〜〜がコンセプチュアルアートを醸し出している・・・踊るミュージアム・・・大分県立美術館。  
2006年の青森県立美術館以来、約10年ぶりの県立美術館の開館となります。スクエアな建物でスカイラインをストレートに描きながら竹工芸をイメージした外壁がJapanを色濃く表現しています。  
広場に目をやりますと、建築物と融合するようにモノトーングリッドが構成され、素材として日本古来の風合いを表現した「FUNA 風波」を採用いただきました。

■ ペイブロック



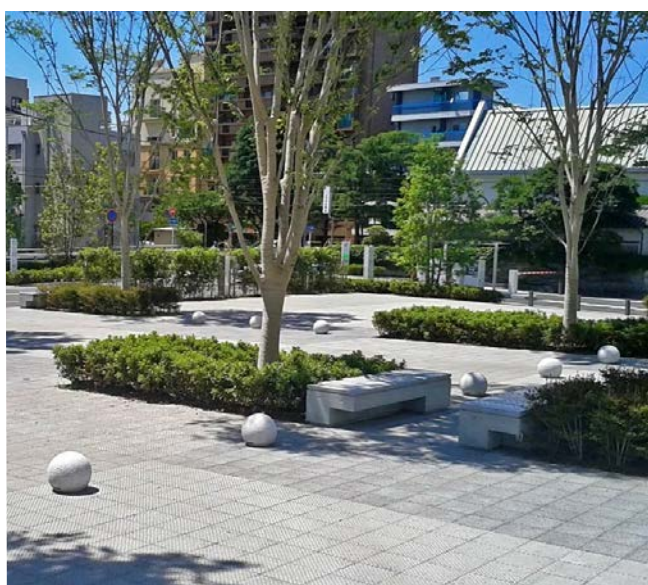
webカタログもご覧下さい







OPAM 大分県立美術館



大分県の中心地に位置する「OPAM大分県立美術館」の設計は、建築界の【ノーベル賞】にたとえられる【プリツカー賞】も受賞されている坂茂建築設計の平賀信考さんです。

2016年2月に行われた伝統の「第65回別府大分毎日マラソン大会」のTV中継でも大分県の新しいシンボルとして大きく取り上げられておりました。今回採用いただきましたノミ切りテクスチャが特徴の【FUNA風波】は、白河石を原型に用い、石工職人の手により刻まれたノミ切り模様が美しい陰影を演出します。

エッジの効いた研削加工はモダンなイメージを醸し出し、ショット加工は、水面の揺らぎを思わせるゆるやかなモチーフで昔ながらの日本の風土を感じさせ、牧歌的な空間も造り出す事ができます。

■ FUNA



■ ペイブブロック



webカタログもご覧下さい

現場住所 大分県大分市寿町2番1号

施主名 建築部分:大分県大分土木事務所  
街路部分:大分市役所

竣工年月 2015年 4月

納入製品 建築 ① FUNA ショット加工 : 1129㎡

FUNA 研削加工 : 341㎡

② 車止め(金具特注)AF-CSG

18基

街路 ① FUNA ショット加工 : 530㎡